

受診者様への情報提供

健康診断は、病気を早期発見し治療に繋げるためのものです。早めに治療できれば大事に至らない場合もございます。年一回のこの機会に色々とチェックしてみてください。

当院のがん発見者数（2024年）

部位	件数	発見のきっかけとなった検査
乳	18	乳腺I-、マシエ [®] ライ
前立腺	3	腫瘍マーカー
大腸	3	便潜血
食道	1	胃カメラ
胃	1	腹部エコー
肺	1	肺機能
甲状腺	1	診察
白血病	1	白血球・血小板

便や胃の検査をキャンセルされる方もいらっしゃいますが、消化器のがんは日本でとても発生率が高いがんです。年一回は検査しご自身の状態を把握する事をお勧めします。

日本のがんや死因に関する情報提供（2026年4月1日時点）

最新がん統計 国立研究開発法人国立がん研究センターより

2021年に新たに診断されたがんは98万9千人（男性55万6千人、女性43万3千人）

2024年にがんで死亡した人は38万4千人（男性22万2千人、女性16万2千人）

日本人が一生のうちのがんと診断される確率（2021年データに基づく）

男性63.3%（2人に1人）

女性50.8%（2人に1人）

がん罹患数の順位（2021年）

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	前立腺	大腸	肺	胃	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮

がん死亡数の順位（2024年）

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

死因順位（2024年） 厚生労働省人口動態統計月報年計より

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	がん	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎
女性	がん	老衰	心疾患	脳血管疾患	肺炎

胃や大腸の検査はされていますか？

日本人の死因1位は男性・女性ともがんです。中でも大腸・胃・膵臓・肝臓といった消化器のがんはどれもトップ5に入ります。

※2024年厚生労働省人口動態統計月報年計、国立研究開発法人国立がん研究センター2024年統計より

胃がんや大腸がんなどは初期段階では症状がほとんどありません。定期的な検査により、早期に発見し、適切な治療を受ければ多くの場合、完治が見込めます。

胃の検査としては、主に胃部X線検査と胃カメラ検査がございます。X線検査はバリウムという薬剤を服用しX線により胃などをレントゲン画像で映し出します。胃カメラは内視鏡を口か鼻から入れていき内部を直接映像で診ていきます。



胃部X線検査



胃カメラ検査

大腸の検査としては、主に便検査です。血が混ざっていないかを見ています。

早期発見・早期治療のため、年一回は定期検査を行い、ご自身の状態を把握しておくことをお勧め致します。